

京田辺ぐるどんマップ プロジェクト

同志社大学政策学部

真山ゼミCチーム

木村、北島、布川、三宅、米田

目次

- 亀岡での事故を受けて
- 京田辺市の現状
- 子供の適応能力には限界がある
- 通学路の見守り活動の現状
- 京田辺ぐるどんマッププロジェクト
- ぐるどんマップの作成過程
- ぐるどんマップの活用法
- ぐるどんマップのメリット
- ぐるどんマップのヴィジョン

亀岡市での事故を受けて…

全国どの市町村でも
通学路の安全対策が見直されている



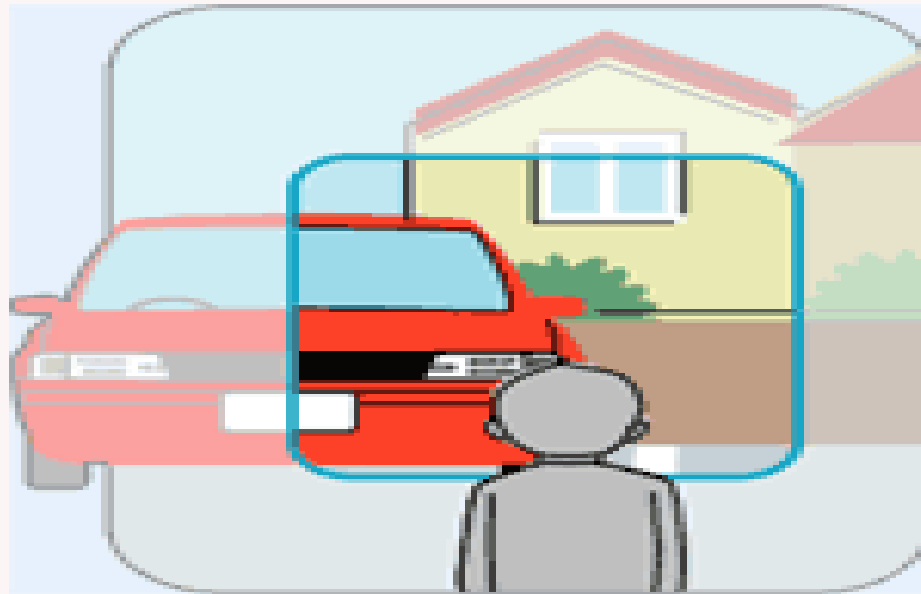
京田辺市の現状

通学路安全点検踏査事業
平成24年度一般会計補正予算
登下校の安全指導



子どもの適応能力には 限界がある！

子どもの高さ・視界はこんな風になっている！！



+ 子ども独特の思考

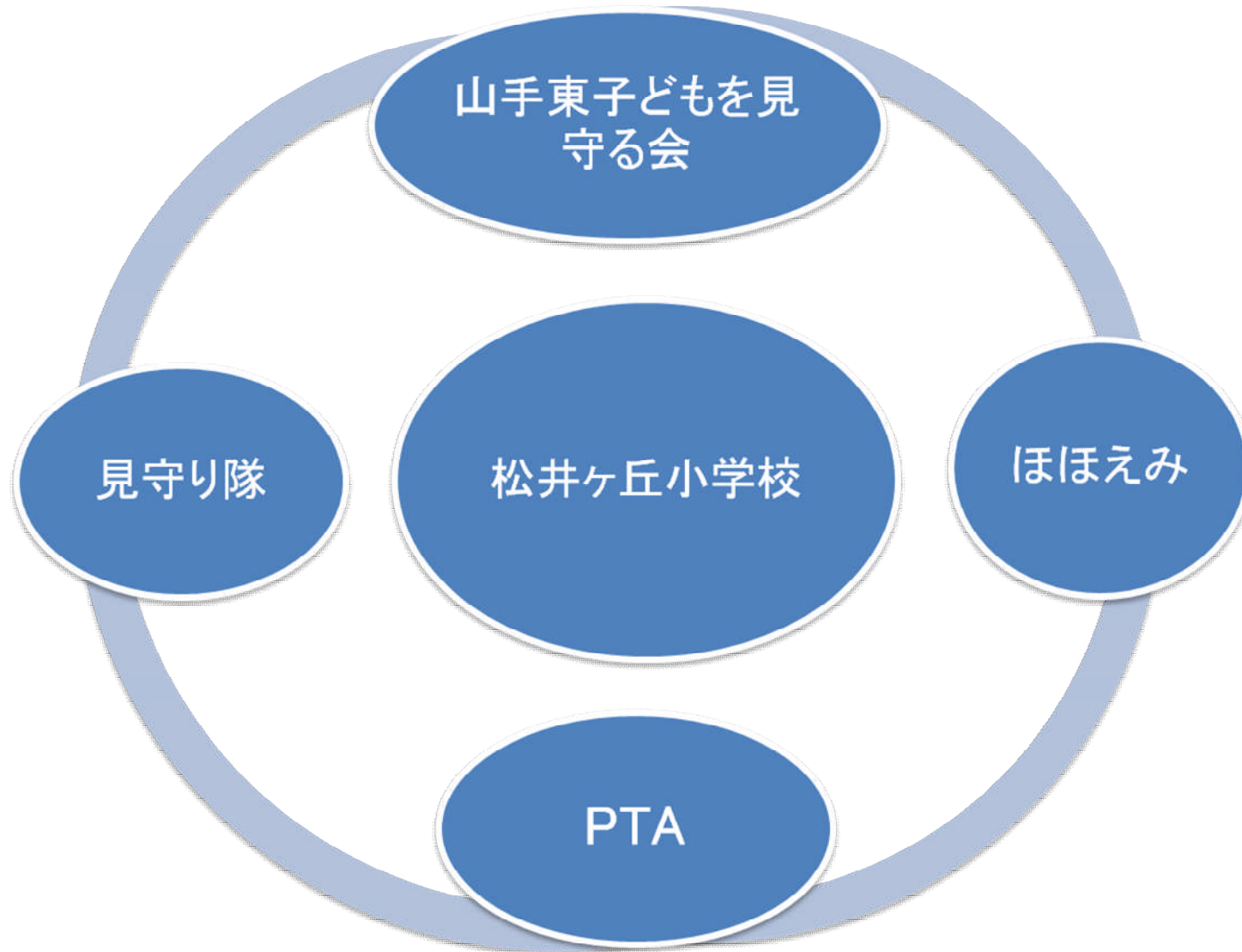
車を運転するのは
おとなじゃない？



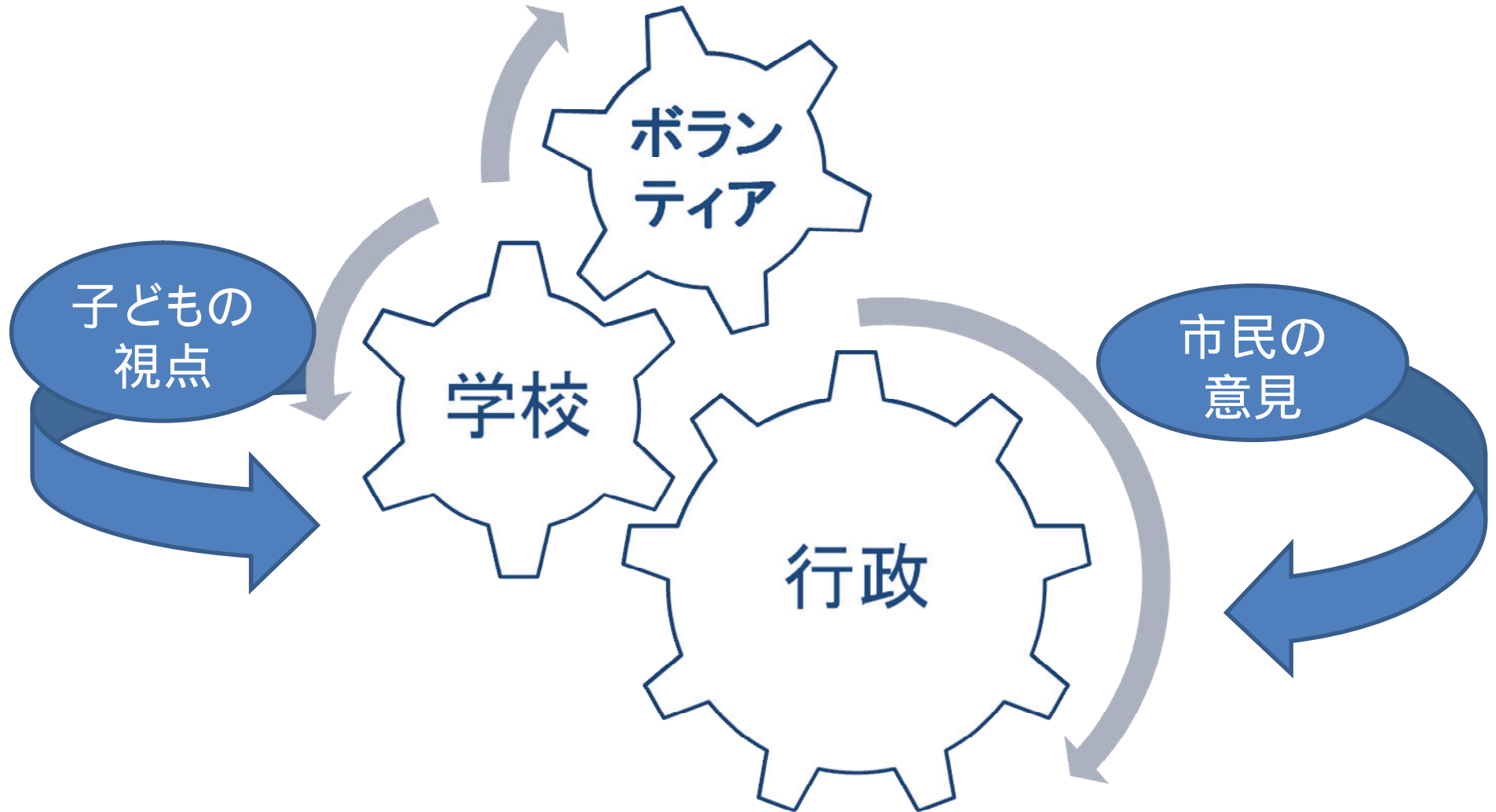
おとなの努力が必要不可欠

通学路の見守り活動の現状

< 松井ヶ丘小学校の場合 >



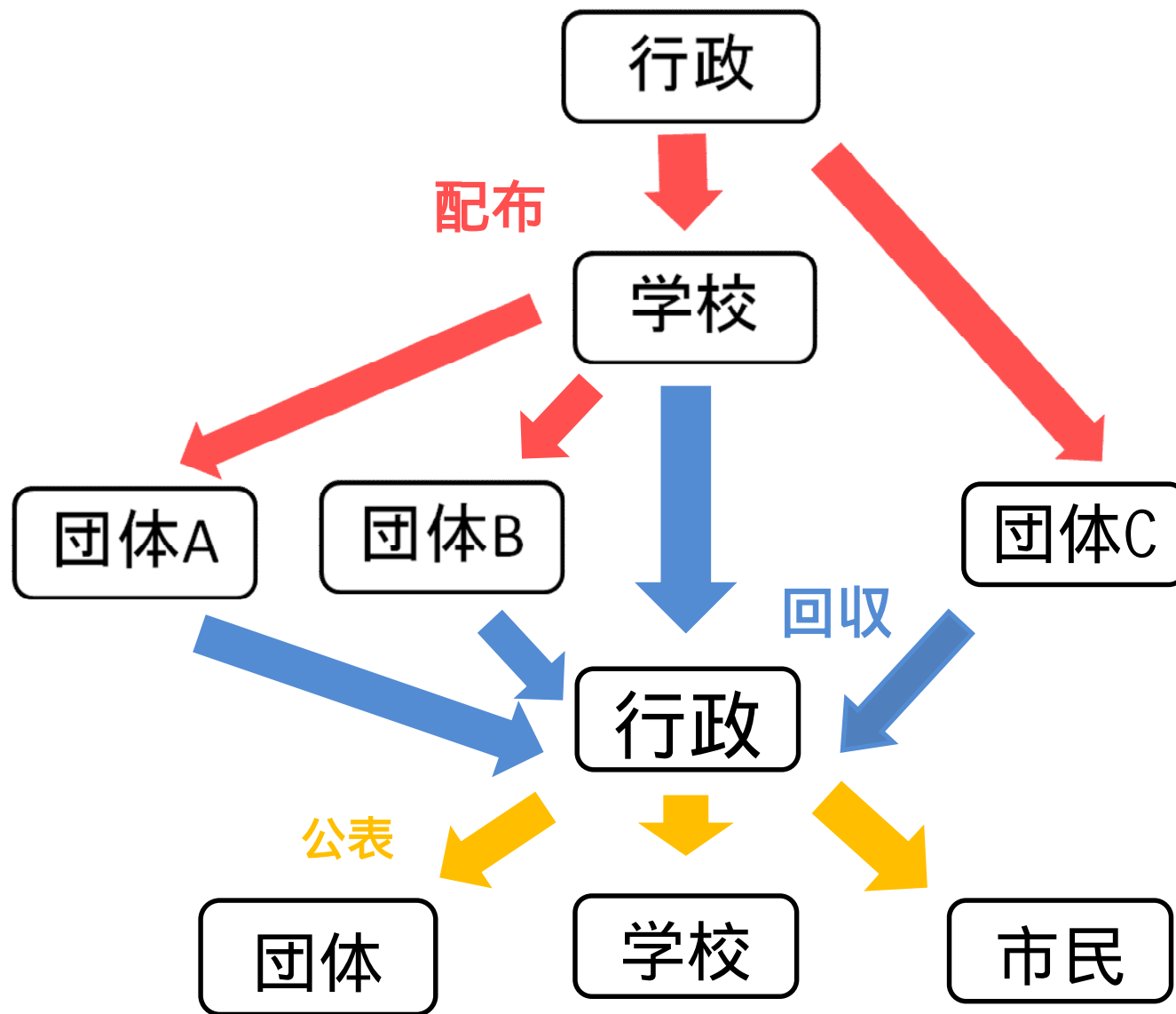
3つの歯車を合わせる 施策があれば・・・！



京田辺ぐるどんマップ

プロジェクト





ステップ1

< 団体 >

学校を通して校区ごとの通学路マップを配布

以下2点について記入

- * 自分たちが見守っている通学路の該当箇所
- * 見守っている通学路で感じる危険箇所の理由

目的 大人たちが感じる危険を周知させる

< 学校 >

通学路マップを配布

授業の一環として下校時に子供と保護者で危険箇所を記入

学校で行われている児童の地区ごとの集まりを利用し、
地区ごとにマップをひとつにまとめる

ステップ2

< 行政 >

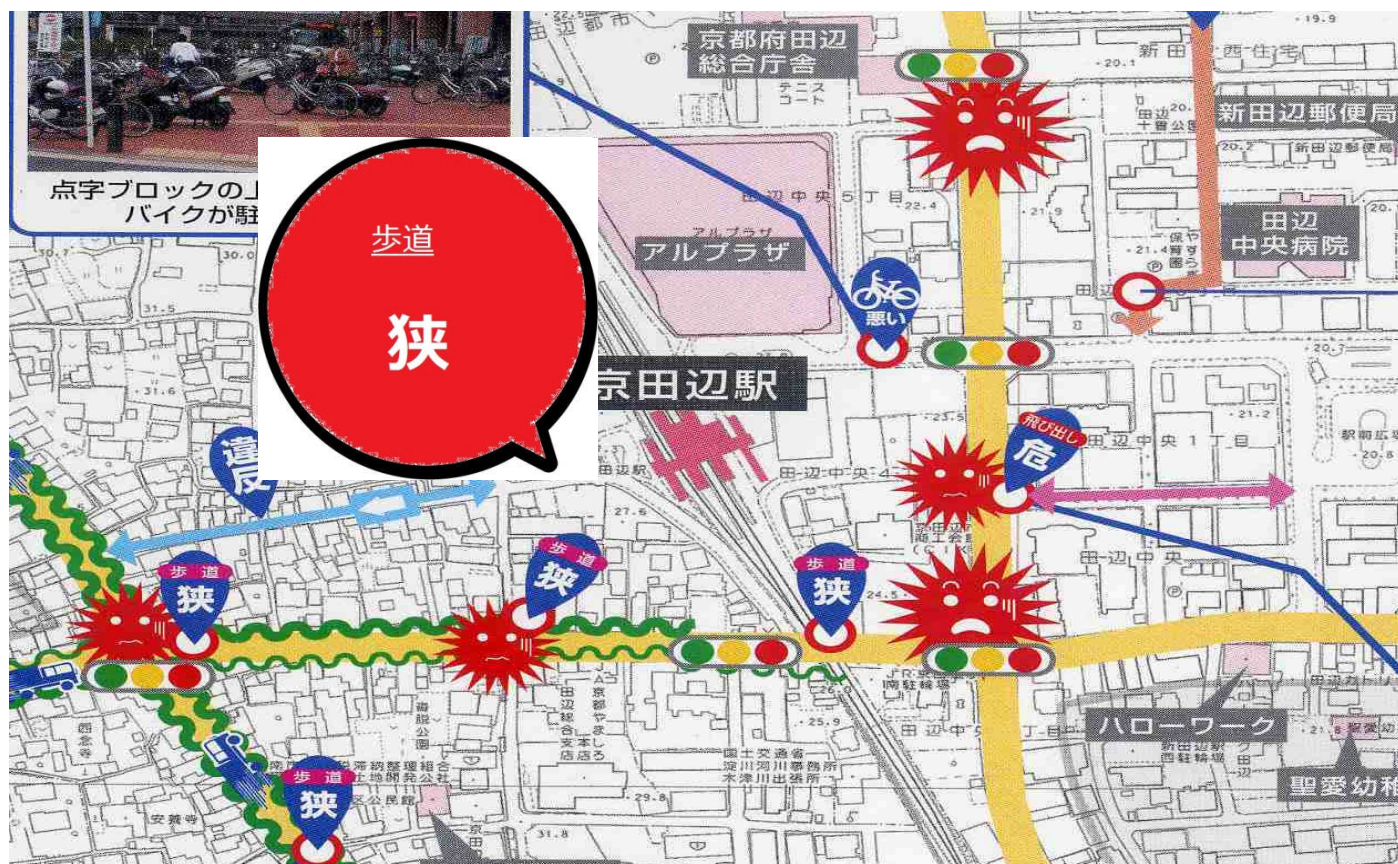
小学校及び各団体からマップを回収し、
ひとつのマップにまとめる

ぐるどんマップの活用方法

～ どんどん更新！ ～

ぐるどんマップの活用方法①

- ・京田辺市のHPに完成したマップを記載
- ・クリックが増えるごとに赤く変化(危険度の増加を示す)





点字ブロックの上まで自転車・バイクが駐輪している

自転車のマナーが悪い



ぐるどんマップの活用方法

～ぐるっと見回る

子ども視点！～

ぐるどんマップの活用方法②

ムービーの作成

- マップをもとに児童の目線で通学路を歩く
- ボランティア講習会、教育現場などで公開
大人に対する啓発

メリット

子ども目線の取り入れ

子ども視点から大人への啓発

行政・学校・ボランティアの連携

質の高い通学路の安全対策が可能

リアルタイムの更新

最新の安全情報を発信

“マップ作成者”の増加

地域住民の意識向上

ビジョン

大人が進んで子どもを守る
地域ネットワークの構築

ご静聴ありがとうございました

